

## 只見線の利用促進へ

退職公務員が只見—  
会津川口駅間で乗車

元県生活環境部長ら

退職公務員連盟福島支部  
の会員35人は3日、全線再  
開通から1年を迎えたJR  
只見線の利用促進に貢献し  
ようと、只見（只見町）—  
会津川口駅（金山町）の区  
間で乗車した。

県只見線地域コーディネ  
ーターを務める酒井治子さ  
んの解説を聞きながら沿線  
地域に理解を深めた。20



16（平成28）年4月から  
2018年3月末まで県生  
活環境部長を務め、只見線  
の復旧に関わる業務に携わ  
った尾形淳一さん（65）は車  
窓から見える美しい風景に  
目をやり、「最初は復旧は  
難しいとさえ考えていた  
が、地元住民の熱い思いに  
動かされて実現に至った」  
と感慨深そうに振り返っ  
た。同じく県生活環境部長  
を経験した阿久津文作さん  
（71）は全線再開通後に初め  
て乗った。南会津町出身で  
あるため「同じ奥会津の鉄  
道がにぎわってうれし  
い」と笑顔を見せた。

列車内から沿線住民に手  
を振った元県警刑事部長の  
今泉満臣さん（68）は「地元  
の人が只見線に手を振る姿  
に心が温まった」と感想を  
語った。

只見線に乗車し酒井さん（右）  
からの説明に聞き入る（中央  
左から）阿久津さん、尾形さん  
3日午後2時30分ごろ（退  
職公務員連盟福島支部提供）